

けやき大通りの現状と課題

道路の現状①

■ けやき大通り位置図



道路の現状②

■ けやき大通りの現況断面 (駅前～北ノ新地交差点)



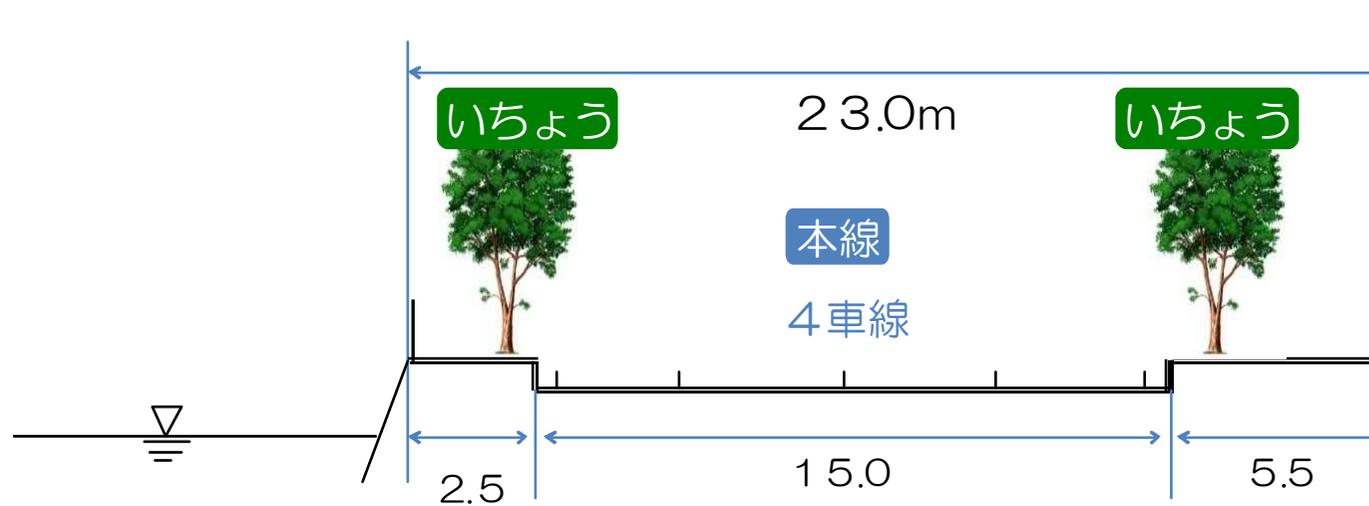
道路の現状③

■ けやき大通りの現況断面 (北ノ新地交差点～公園前交差点)



道路の現状④

■ けやき大通りの現況断面 (公園前交差点～西汀丁交差点)



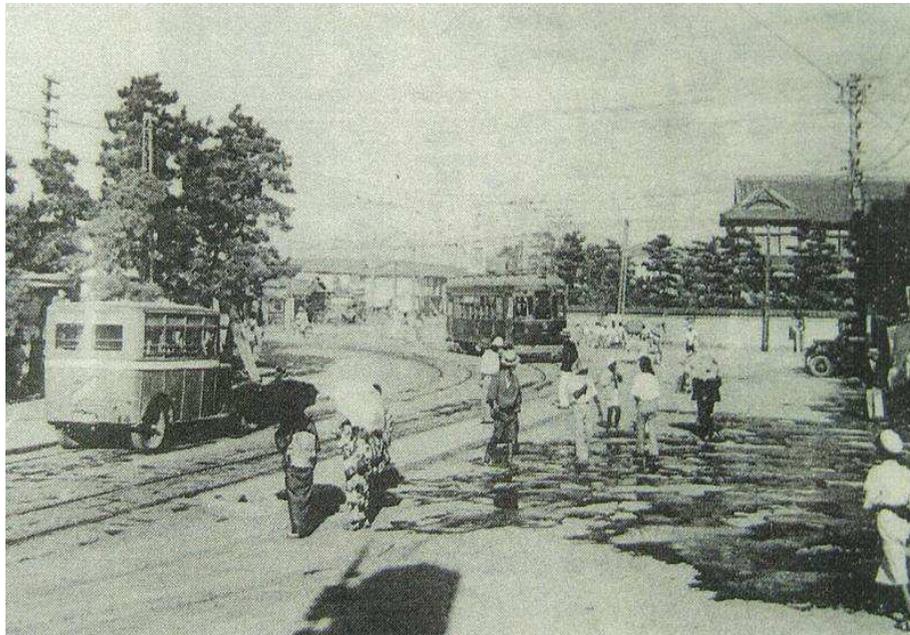
和歌山城



けやき大通りの歴史①

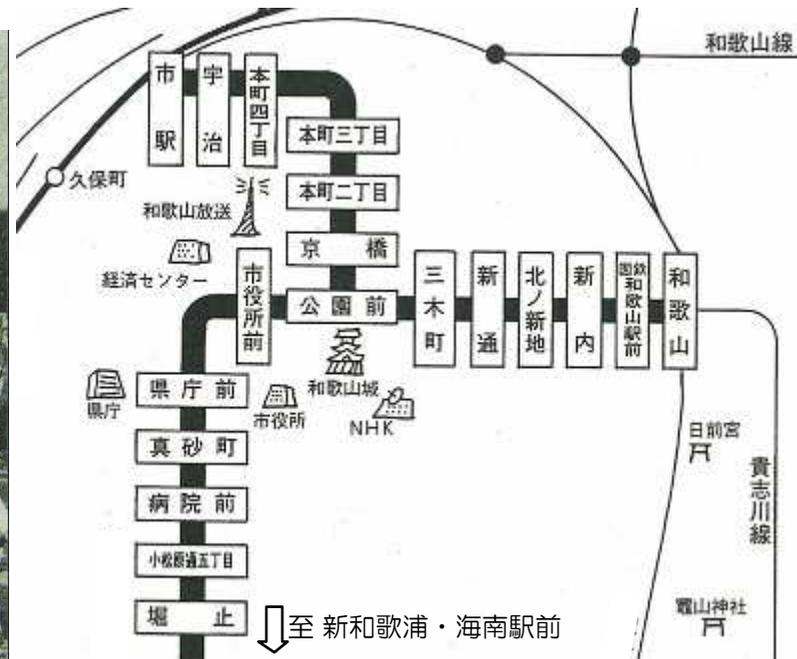
■戦前

- ・大正12年に県道認定
- ・昭和5年に公園前～和歌山駅間に市電(後の南海和歌山軌道線)が開通
- ・当時の道路幅員は22m



昭和初期の公園前

出典：和歌山通り物語



市電(後の南海和歌山軌道線)路線図

出典：阪堺電軌・和歌山軌道線

けやき大通りの歴史②

■戦後

- ・戦災復興事業で道路幅員が50m(側道を含め、片側4車線の道路)に拡張



昭和20年台後半
の東和歌山駅前付近

出典：和歌山市の100年



復興都市計画の進む大通り
50m道路が整備され始める

出典：和歌山市の100年

けやき大通りの歴史③

■昭和後期

- ・昭和46年に南海和歌山軌道線(旧市電)が廃止



昭和40年代の大通

50m道路の整備が完了

出典：和歌山市の100年

昭和46年の三木町交差点

出典：和歌山市今昔写真帖



けやき大通りの歴史④

- ・平成3年～平成6年 和歌山駅前～北ノ新地交差点まで整備
側道を廃止し、歩道を拡幅

整備内容:歩道整備・地下駐車場・電線地中化・ベンチ・舗装・植樹(けやき・くすのき)等



整備前のけやき大通り(側道)

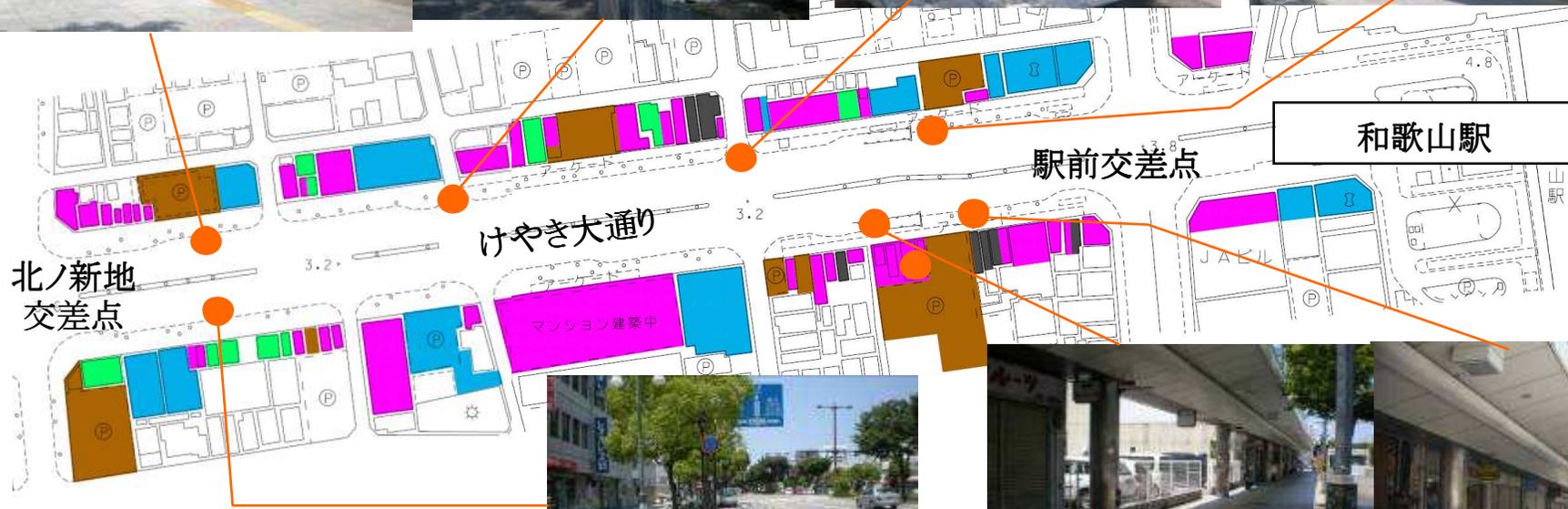


歩道が拡幅された現在のけやき大通り

沿道状況①

■ 駅前～北ノ新地交差点

- ・ 商業施設が多く立地している。
- ・ 閉鎖している店舗や駐車場が商店街の中心にある



凡例	
	商業施設
	商業施設閉鎖
	業務施設
	駐車場
	住宅施設



沿道状況②

■北ノ新地交差点～三木町交差点

- ・ 商業施設、業務施設、駐車場が混在
- ・ 比較的住宅施設が多く立地している



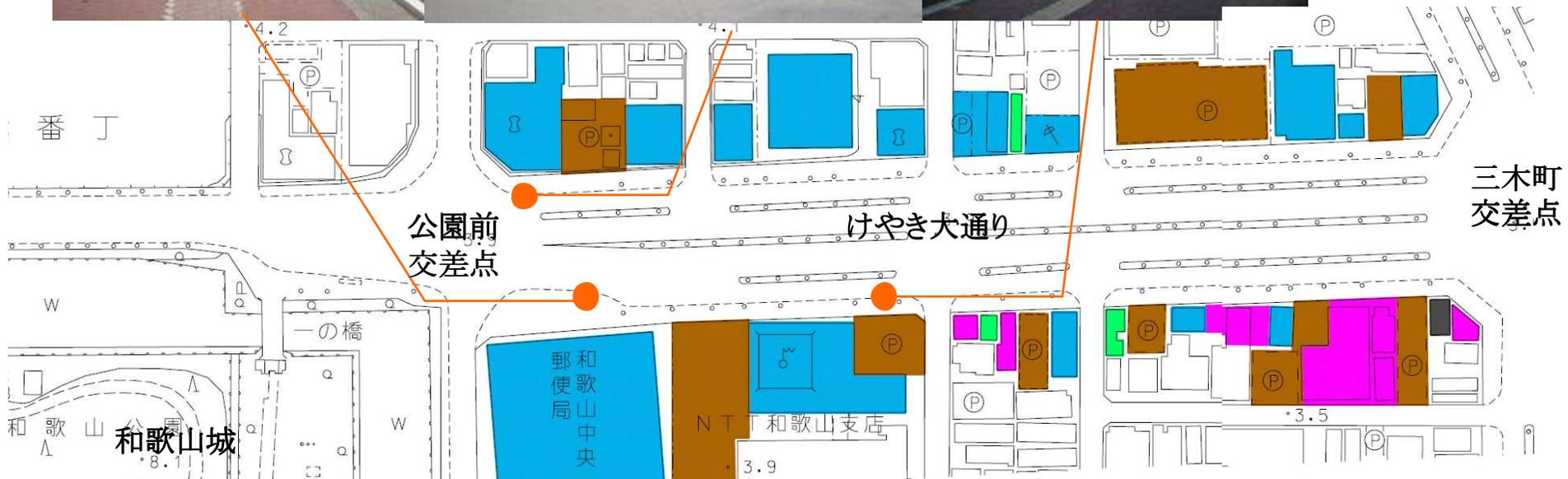
沿道状況④

■三木町交差点～公園前交差点

- ・公園前交差点付近は銀行などの業務施設が集中



凡 例	
	商業施設
	商業施設閉鎖
	業務施設
	駐車場
	住宅施設



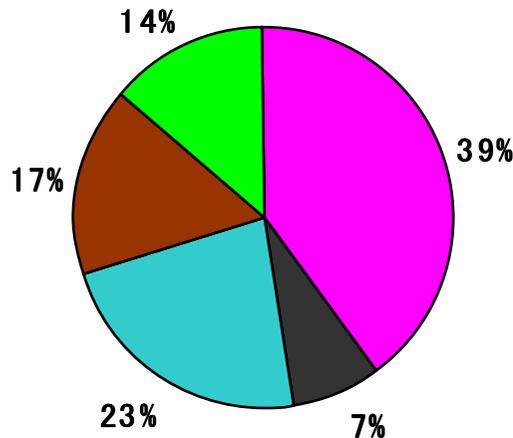
沿道状況の総括

■ けやき大通りの沿線状況

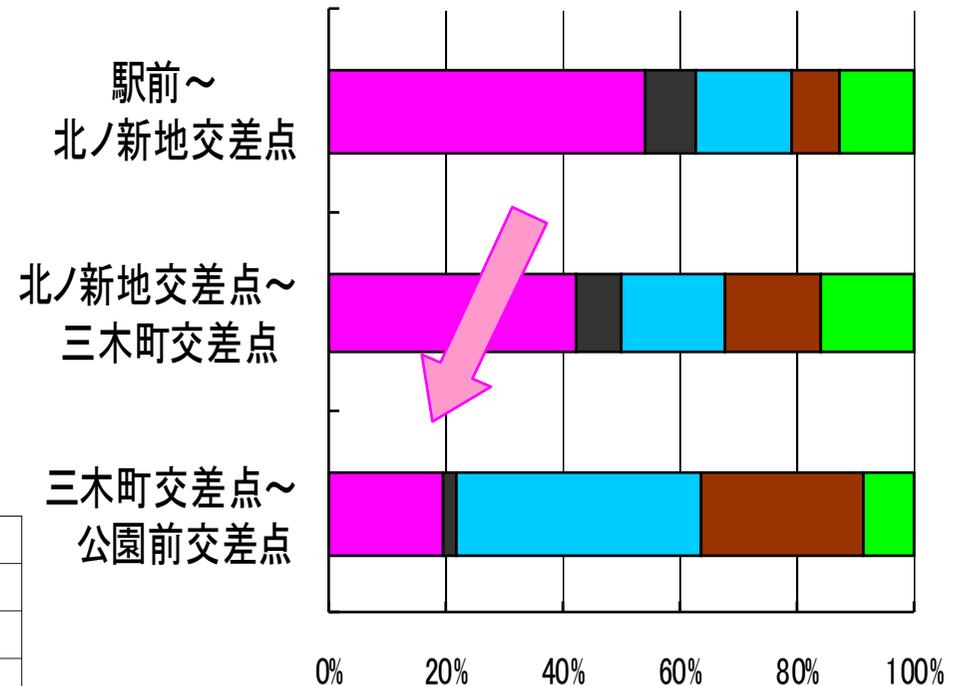
- ・ 北ノ新地から三木町交差点にかけては商業施設、業務施設、設駐車場、住宅地等が混在している
- ・ 駅前から離れるにつれて商業施設が減少し、業務施設や駐車場が増加する

けやき大通り沿線状況

商業施設	82
商業閉鎖施設	15
業務施設	47
駐車場	34
住宅施設	28



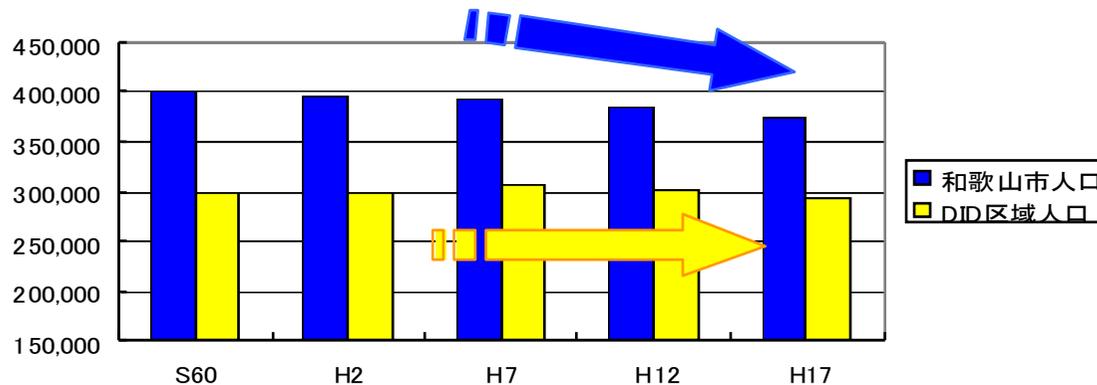
凡 例	
■	商業施設
■	商業施設閉鎖
■	業務施設
■	駐車場
■	住宅施設



周辺の人口動向

■人口の動向

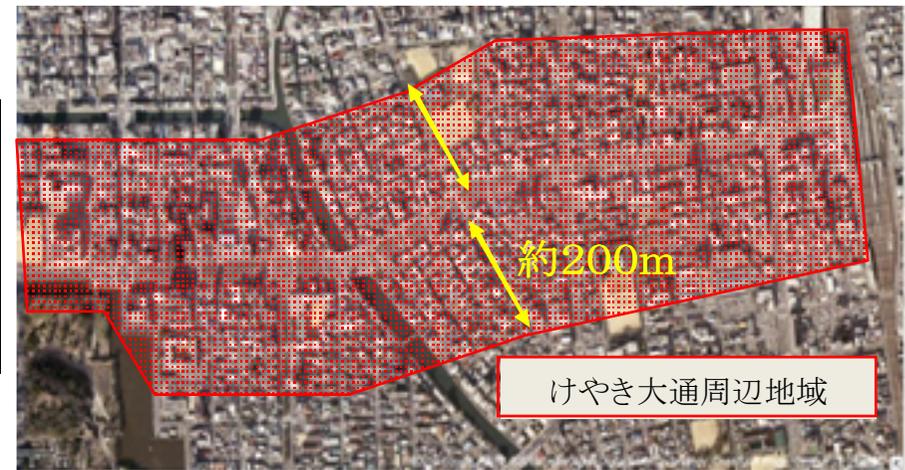
- ・ 和歌山市の人口は昭和57年をピークに減少している
- ・ けやき大通り周辺は人口減少は少ないものの高齢化率が高い地域



和歌山市の人口の推移

けやき大通り周辺人口の推移

	H12	H17	H17/H12	
けやき大通り 周辺	人口(人)	5,958	5,863	0.98
	65歳以上人口(人)	1,592	1,813	1.14
	高齢化率(%)	26.7	30.9	1.16
和歌山市	人口(人)	386,551	375,591	0.97
	65歳以上人口(人)	71,924	82,838	1.15
	高齢化率(%)	18.6	22.0	1.18



沿道景観①

■ けやき大通りの景観

- ・ 北ノ新地より駅側は幅広い歩道とベンチ等が市民の憩いの場となっている
- ・ 北ノ新地交差点より和歌山城に至るけやき並木が良好な景観を形成



歩道が拡幅された区間の並木



和歌山城に至るけやき並木

沿道景観②

■ けやき大通りの景観

- ・ けやき大通り周辺には、色彩や大きさが様々な広告が多数あり、全体として統一感がない



広告塔の様子



店舗看板の様子

交通状況①

■現況自動車交通量

- ・ けやき大通の自動車交通量はH6をピークに減少傾向にある



○昼間12時間交通量：19,695台

自動車	： 15,752台
バス	： 664台
貨物車類(小型)	： 2,849台
貨物車類(普通)	： 430台

○平日24時間交通量

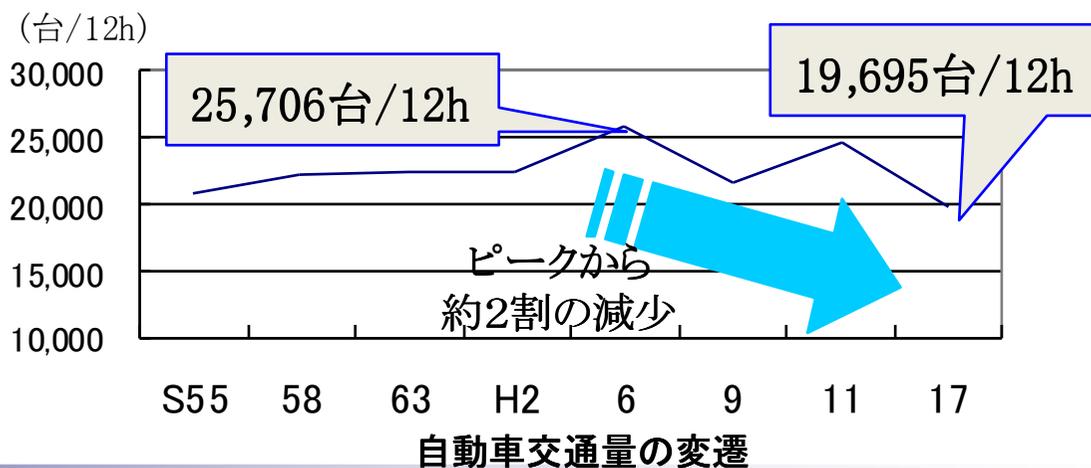
・25,800台(大型車1,179台)

○休日24時間交通量

・20,190台

混雑率 0,42

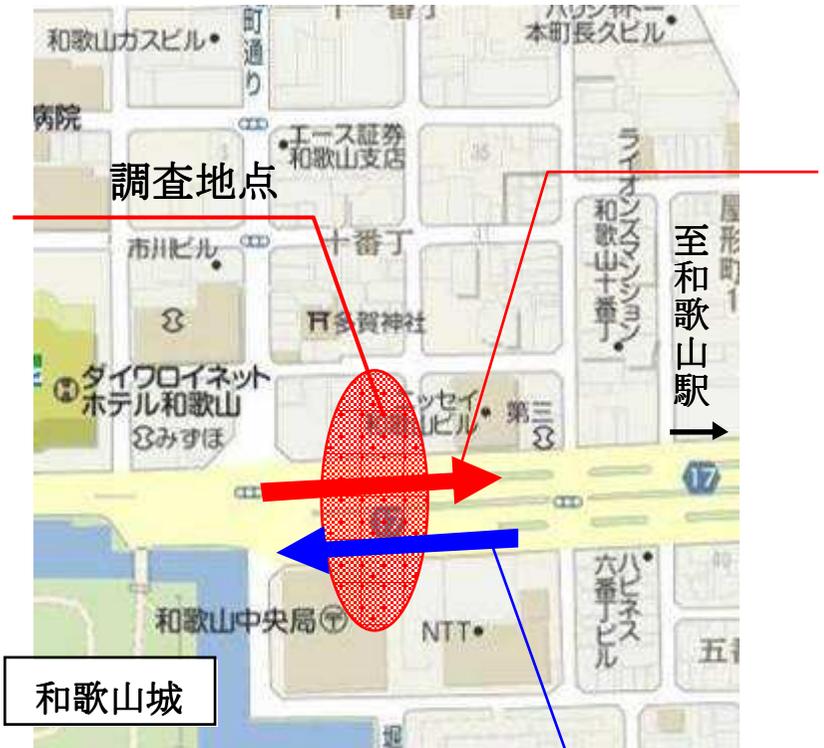
(H17交通センサスより)



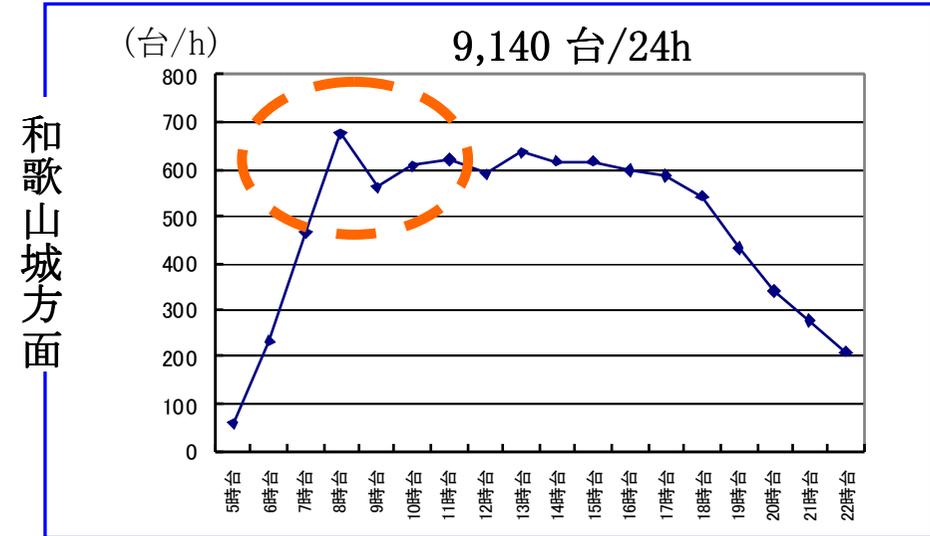
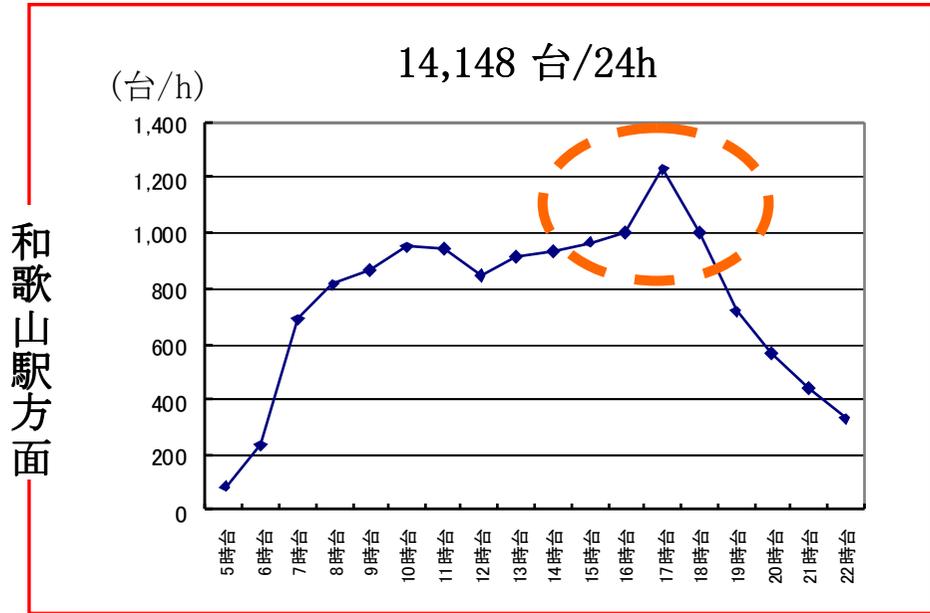
交通状況②

時間自動車交通量 (公園前)

○平日24時間平均交通量: 23,288台



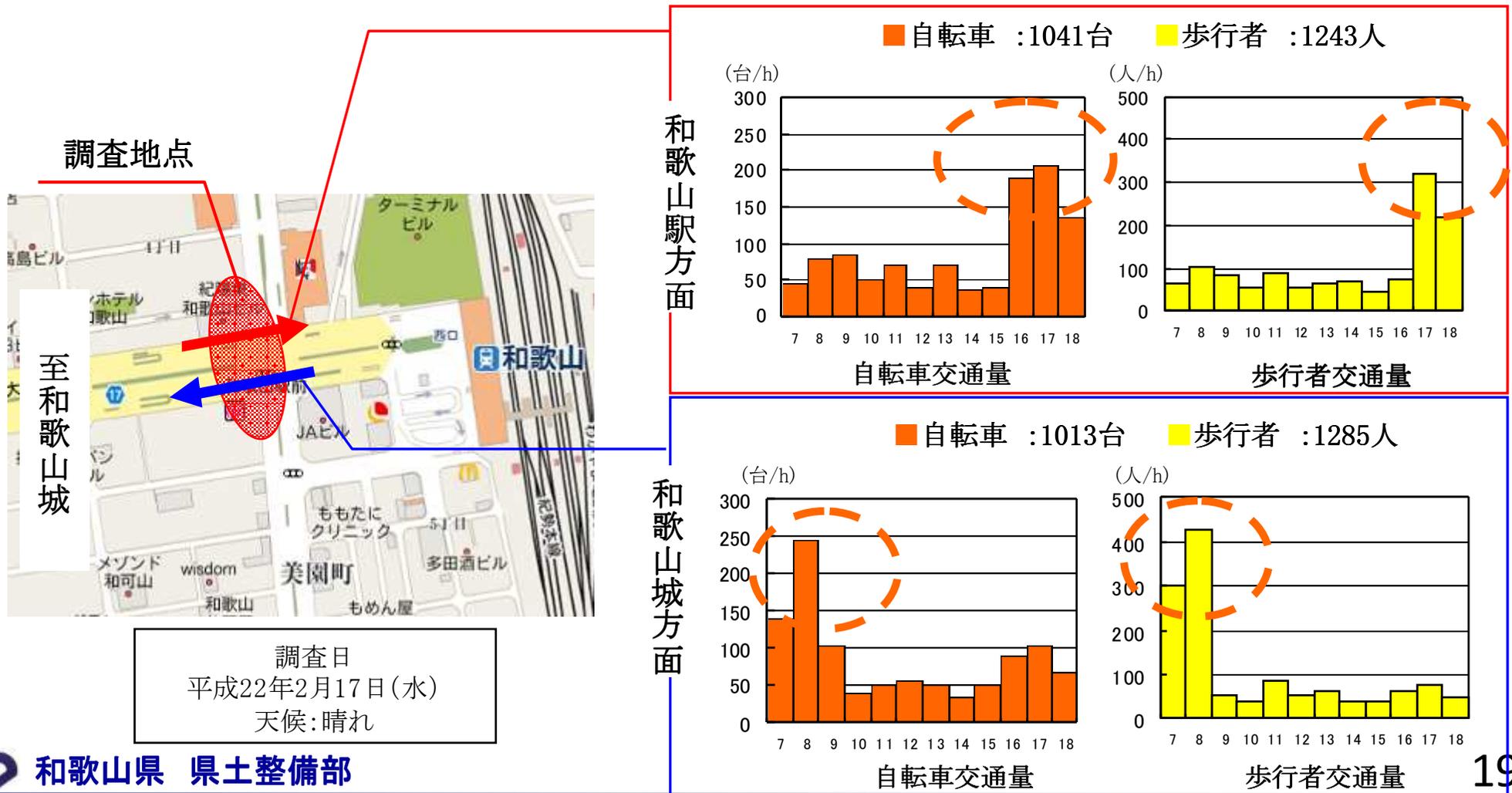
H22.5
平日(5日)平均交通量



交通状況③

■ 自転車・歩行者交通量（和歌山駅前）

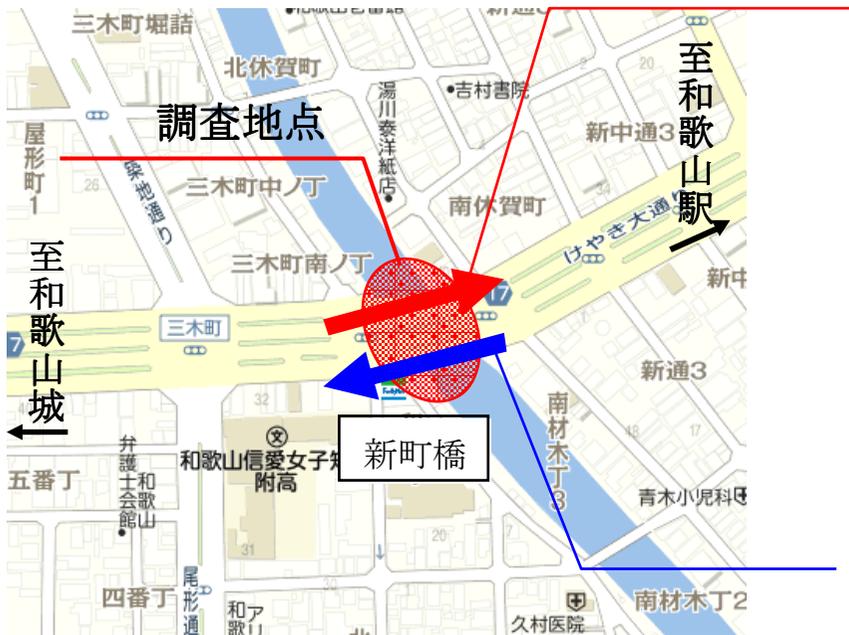
- ・ 通勤通学の交通量が多い
（和歌山城方面のピークが午前8時台,和歌山駅方面のピークが夕方）



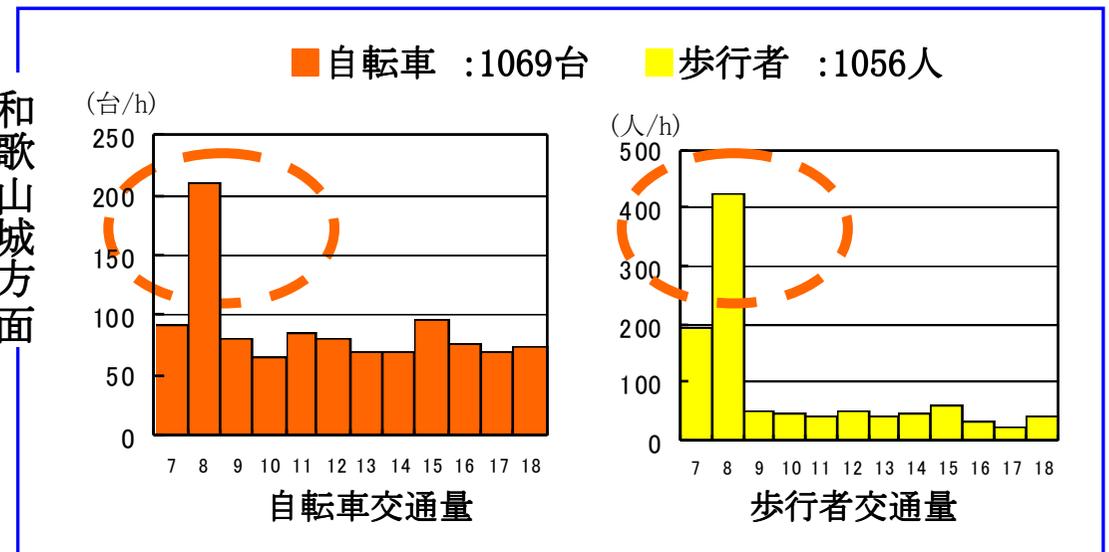
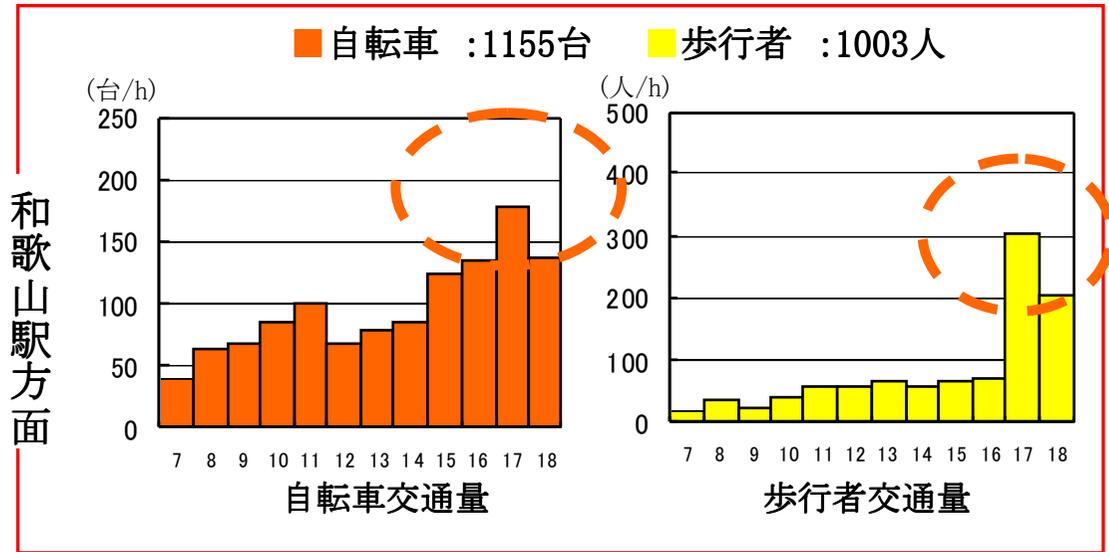
交通状況④

■自転車・歩行者交通量（新橋付近）

②新町橋付近



調査日
平成22年2月22日(月)
天候:晴れ

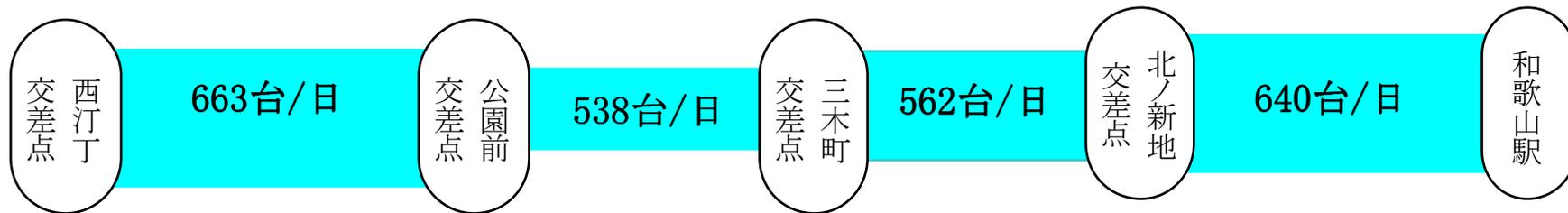


交通状況⑤

■バス交通量

- ・ けやき大通りはバスの幹線として利用されている（9路線33経路）
- ・ 和歌山城・三木町・公園前の利用者が多い

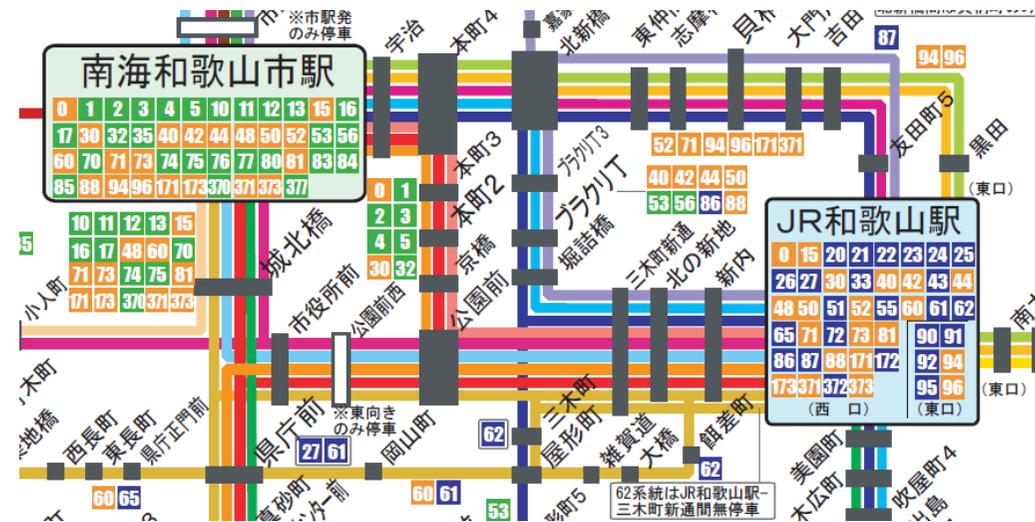
けやき大通りのバス交通量



バス亭名	利用者数(人)
JR和歌山駅	9,403
新内	217
北ノ新地	116
三木町新通	972
公園前	1,027

(和歌山バス提供)

※H21.5 平日5日間平均利用者数



和歌山市内中心街バス路線図

交通状況⑥

■ バス亭

- ・ けやき大通り沿線には12箇所のバス亭がある
(駅方面7箇所、和歌山城方面6箇所)



北ノ新地 バス停 (側道のある区間)



新内 バス停 (歩道の拡幅された区間)

交通状況⑦

■ タクシー交通

- ・ 主なタクシー乗り場は2箇所(駅前・市役所前)
- ・ 側道や停車帯を利用した乗り降り



市役所前



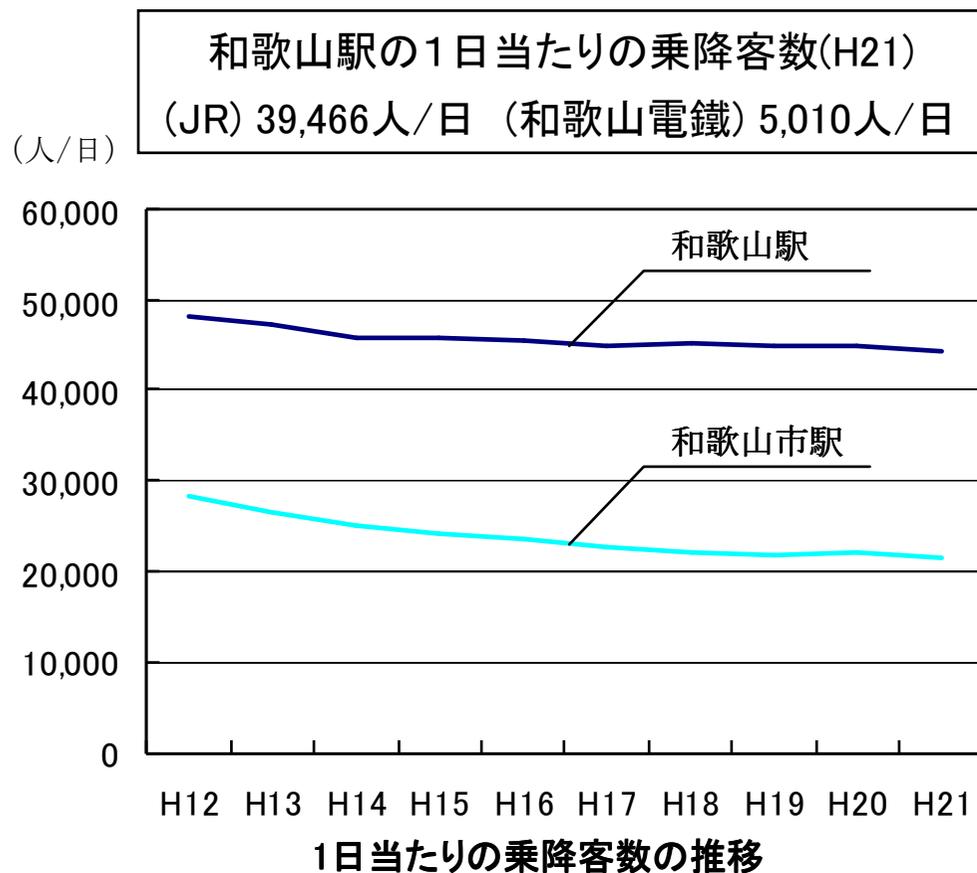
駅前のタクシー乗り場



交通状況⑧

■鉄道

- ・和歌山駅の一日の乗降客数は約4万5千人(平成21年度)
- ・鉄道利用者数は減少傾向にある



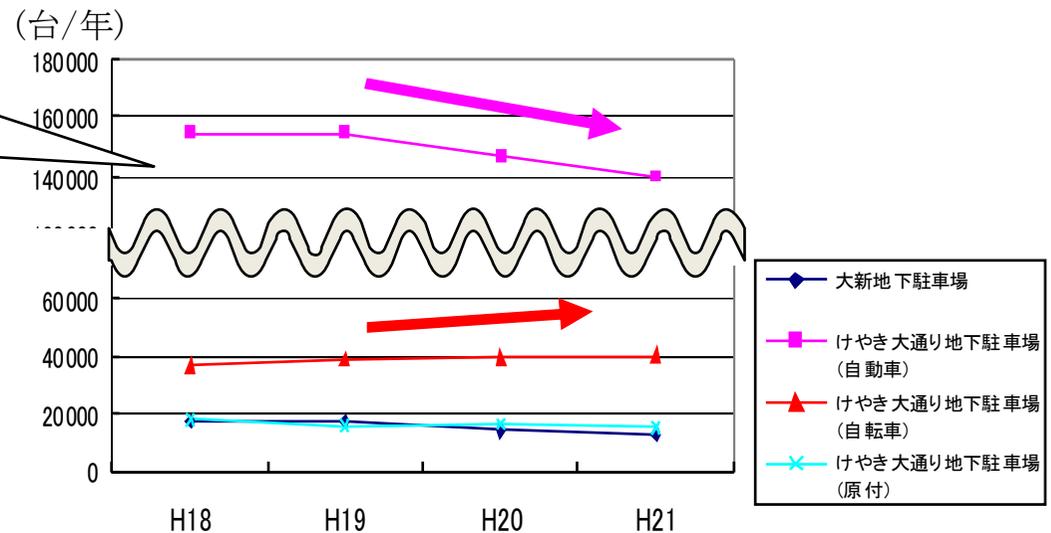
交通状況⑨

■ 周辺駐車場

- ・ 駅前に市営けやき大通り地下駐車場(352台)、大新地下駐車場(166台)がある
- ・ その他けやき大通り周辺に大小約30箇所のコインパーキング



けやき大通り地下駐車場
において自動車が増え、
自転車が増えている



	収容台数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
大新地下駐車場	166	16952	16811	14232	12725
けやき大通り地下駐車場 (自動車)	352	154746	154365	147250	139763
けやき大通り地下駐車場 (自転車)	1110	36615	38231	39332	40137
けやき大通り地下駐車場 (原付)	600	17594	15987	16204	15256

(台)

年間一時利用台数の変化

交通状況⑩

■ 周辺駐車状況

- ・側道に多くの車が違法駐車している
- ・主要な駐輪場が駅前にしかなく通りの至る所に自転車が放置されている



側道における駐車状況



歩道の放置自転車の状況

交通事故の発生状況①

■ けやき大通り

- ・ 三木町交差点での事故発生が多い
- ・ 三木町交差点の事故の約半数が側道が絡んだ事故

交通事故内訳 (件)	
車両相互	3
車両・二輪車	3
車両・自転車	1
車両・歩行者	1
合計	8
うち側道関連	0件

交通事故内訳 (件)	
車両相互	10
車両・二輪車	8
車両・自転車	7
車両・歩行者	2
合計	26
うち側道関連	14件

交通事故内訳 (件)	
車両相互	8
車両・二輪車	2
車両・自転車	1
車両・歩行者	0
合計	11
うち側道関連	3件

交通事故内訳 (件)	
車両相互	2
車両・二輪車	7
車両・自転車	4
車両・歩行者	3
合計	17
うち側道関連	0件



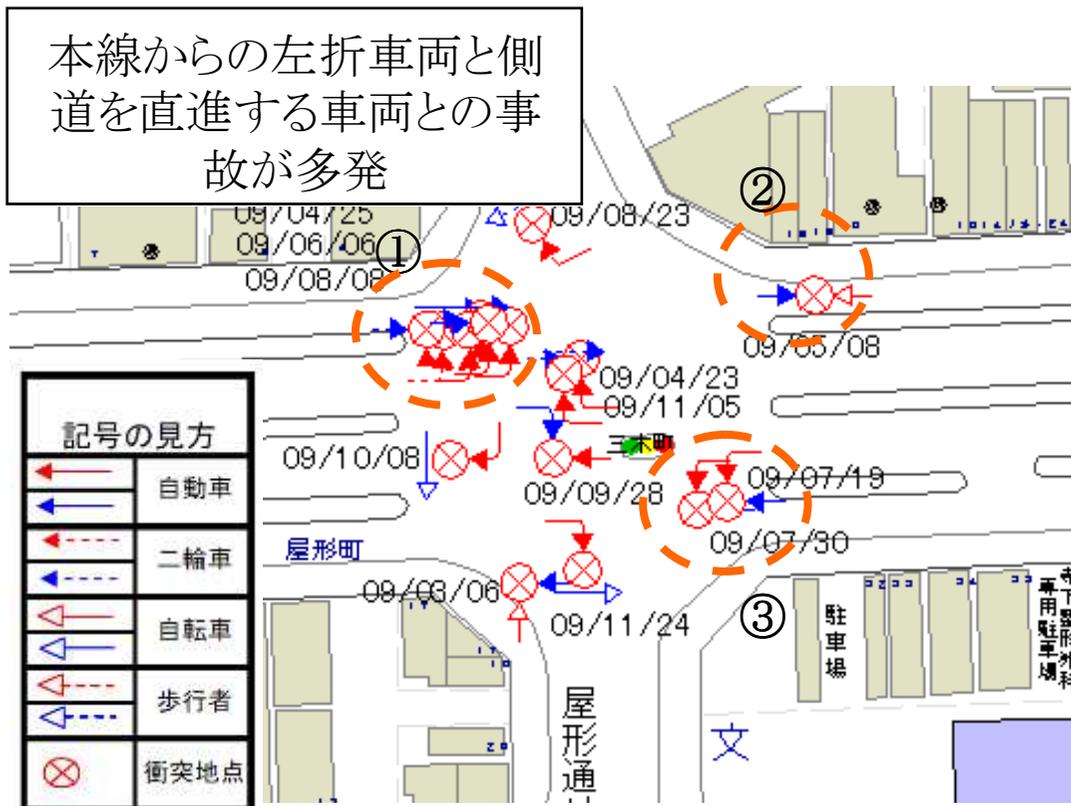
H19～H21における主要交差点の事故件数

交通事故の発生状況②

■三木町交差点事故発生状況（H21）

- ・ 側道があるため、交差点が複雑
- ・ H21年における事故発生数は**県下ワースト2(16件の事故が発生)**

※ ワースト1. 県庁前(18件) ワースト2. 西汀丁(16件)



三木町交差点事故発生状況

交通事故内訳 (件数)

車両相互	6
車両・二輪車	4
車両・自転車	4
車両・歩行者	1
その他	1
合計	16

側道による事故 9件

①地点	6
②地点	1
③地点	2

ムクドリ被害

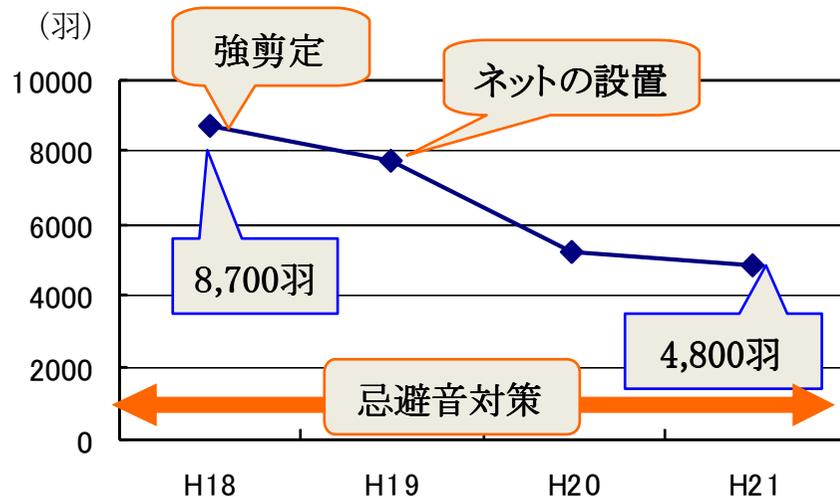
■ けやき大通りの状況

○ 状況

(飛来数) 6月から飛来し、9～10月に増加、最大約5千羽程度
(被害) 騒音(夜半までの鳴き声)、糞害

○ 対策

- ・ 忌避音での追い払い (平成8年度から実施)
- ・ ネットの設置(平成19年度に新町橋から東側の街路樹に設置)



ムクドリの最大飛来数の変遷



スズメ目 ムクドリ科 ムクドリ
全長24cm程度。夕方になると集まり、街路樹等で集団で寝る習性があり、多いところでは数万羽にもなる。

わかやま道路パートナー

地域住民・企業・民間団体と県がともに県管理道路の維持管理を担っていく制度

(参加者)

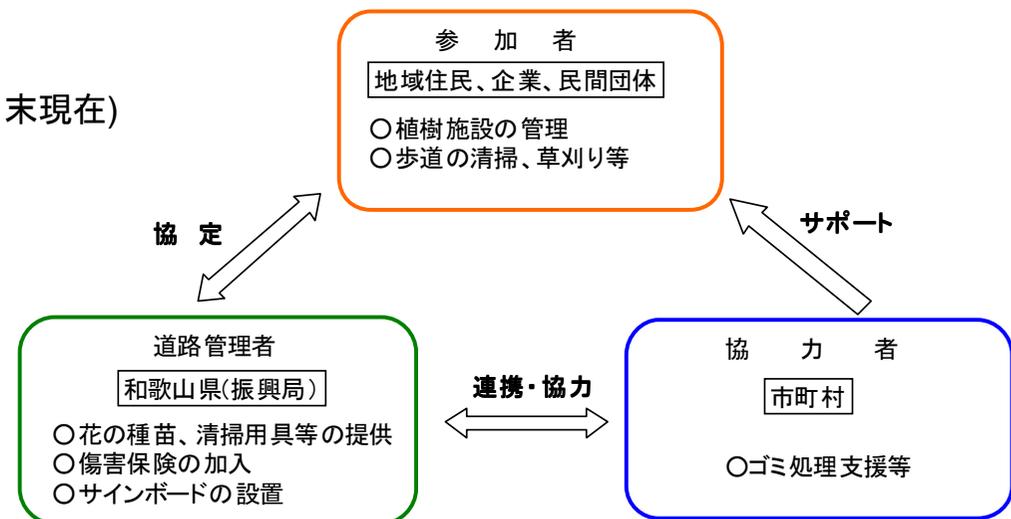
植樹施設の管理(花の植栽、中低木の剪定・水やり、除草等)
歩道の清掃等の活動

(道路管理者)

必要な資材(花の苗、清掃用具等)の提供、活動中の事故に備えた傷害保険への加入、サインボードの設置等の支援

※平成21年度事業開始

けやき通りのパートナー 15件 (平成22年5月末現在)



けやき大通りのイベント①

①わーっと！てづくり市場

- ・手作りの作品のみ出店可能なフリーマーケットを毎月第3土曜日に駅前から北ノ新地交差点までの歩道の拡幅された区間で開催
- ・主催：野外アートプロジェクト実行委員会
- ・平成22年における開催状況
 - (H22.3.20) 出店：60区画 歩行者・自転車通行量：1,269 (3時間)
 - (H22.4.17) 出店：56区画 歩行者・自転車通行量：3,153 (6時間)
 - (H22.5.15) 出店：60区画 歩行者・自転車通行量：2,877 (6時間)



歩道を利用した出店の風景

けやき大通りのイベント②

②紀州おどり「ぶんだら節」

・紀州おどり「ぶんだら節」は、昭和44年に和歌山市制施行80周年を記念して始まり、毎年8月上旬にけやき大通り、和歌山城、ぶらくり丁等で開催。

・主催：和歌山市紀州おどり実行委員会

・開催状況

(H21) 観光客数：15.6万人 参加者数：7,359人/68連 (紀州よさこいの共催)

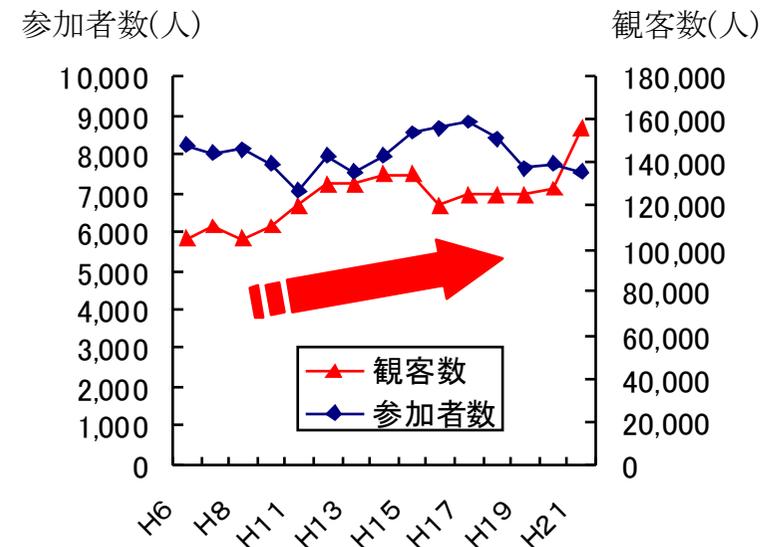
(H20) 観光客数：12.8万人 参加者数：7,723人/72連



けやき大通りでの開催状況



ぶんだら節の開催箇所(H21)



ぶんだら節の観客数及び参加者数の推移

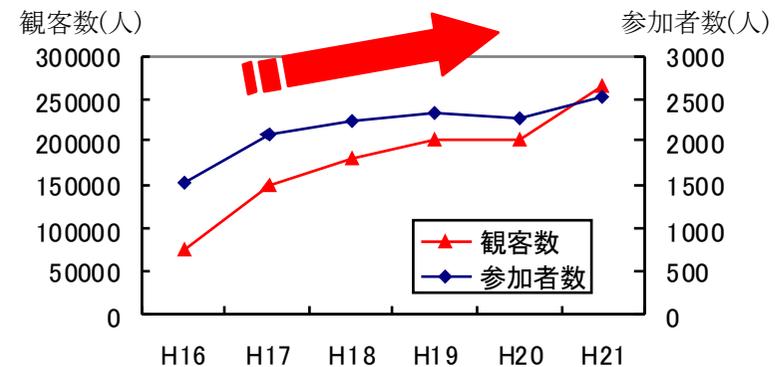
けやき大通りのイベント③

②おどるんや～紀州よさこい～

- ・平成16年から始まり、毎年参加者・観客数は増加している。
- ・毎年8月上旬に和歌山市内各所(平成21年は市内8箇所)で開催
- ・主催：NPO紀州お祭りプロジェクト
- ・開催状況：（H21）観光客数：26.4万人 参加者数：2,516人/58チーム



けやき大通りでの開催状況



おどるんや～紀州よさこい～参加者数の推移

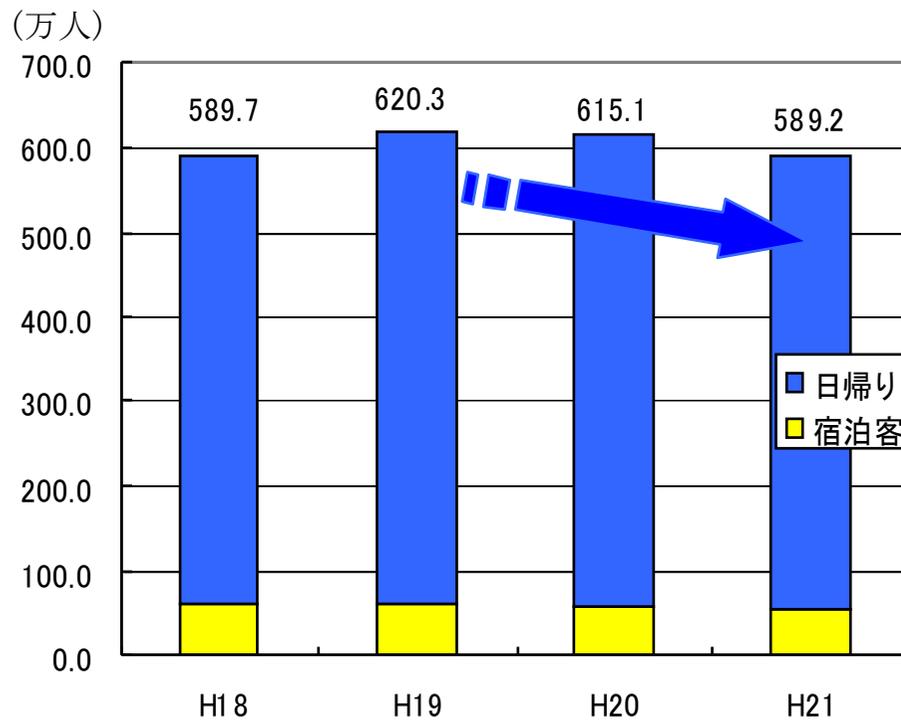


けやき大通り周辺の開催箇所(H21)

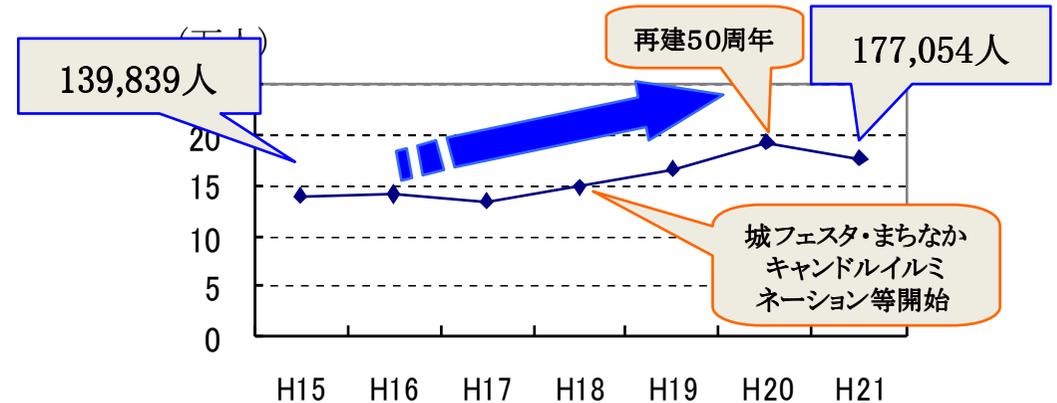
観光客の推移

■和歌山市の観光客

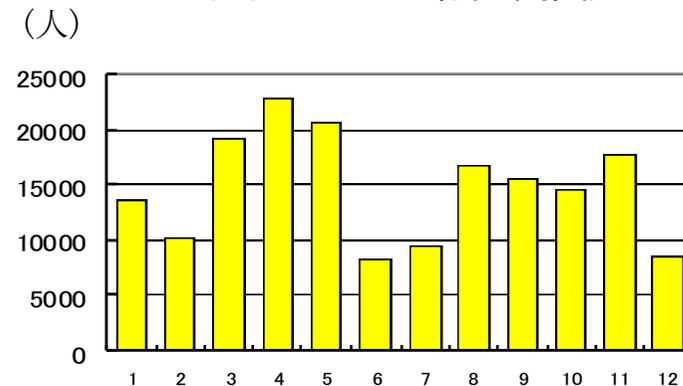
- ・和歌山市への観光客は減少傾向
- ・約9割が日帰り観光客
- ・和歌山城の来場者数は約17万人（春と秋に利用者が多い）



和歌山市の観光客数の推移



和歌山城の入場者数推移



和歌山城の月別入場者数(H21)

けやき大通りの現状の課題

■沿道状況

- ・にぎわいが無い
- ・空き店舗が多い

■景観

- ・広告・看板が様々に設置されており、通りとしての統一感がない

■交通安全

- ・側道や歩道に違法な駐輪・駐車がされている
- ・交差点における側道を原因とした事故が多発している

■環境

- ・ムクドリなどの鳴き声や糞が近隣商店等に迷惑を与えている

道路空間を再配分する上での課題

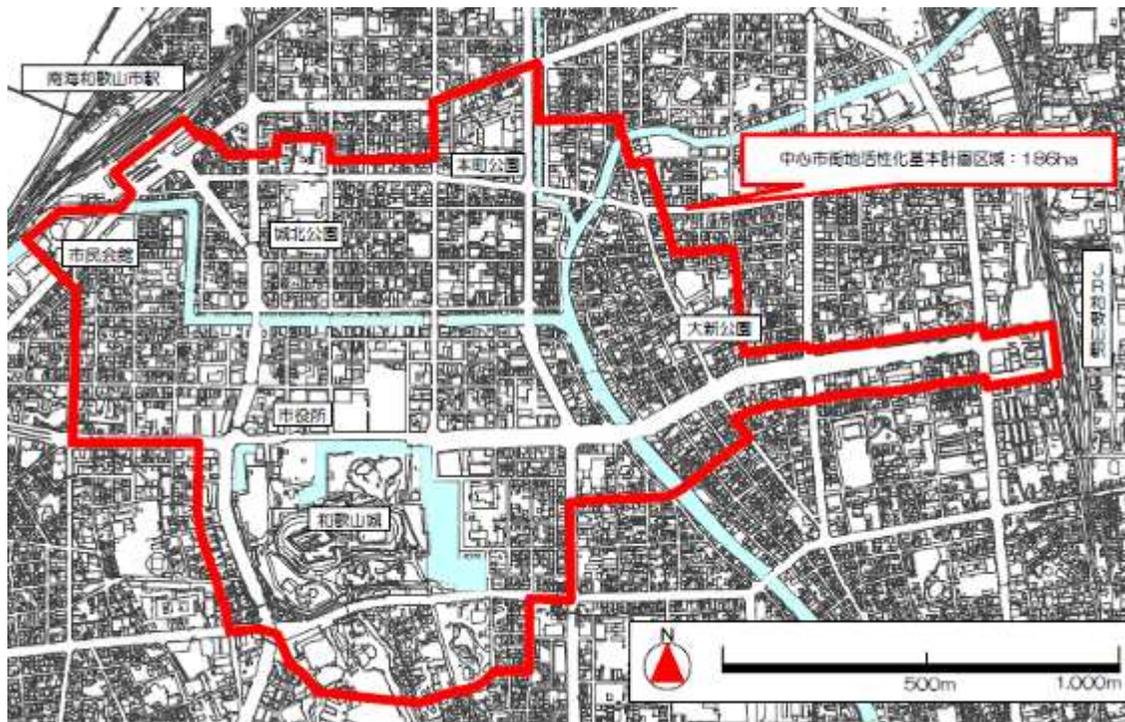
- 現状の街路樹の保全
- 荷捌きスペース・買い物客の駐車スペースの確保
- 沿道駐車場等への乗り入れ口の確保
- 自転車・歩行者の分離
- バス走行性・利便性の確保

けやき大通りに関する既定計画

和歌山市中心市街地活性化基本計画①

■和歌山市中心市街地活性化基本計画（H19.8～H24.3）

- 「歩いて暮らせる賑わいあふれる城まち（基本テーマ）」の実現
 - 「訪れたいまち」
 - 「住みたいまち」
 - 「歩いて楽しく過ごせるまち」



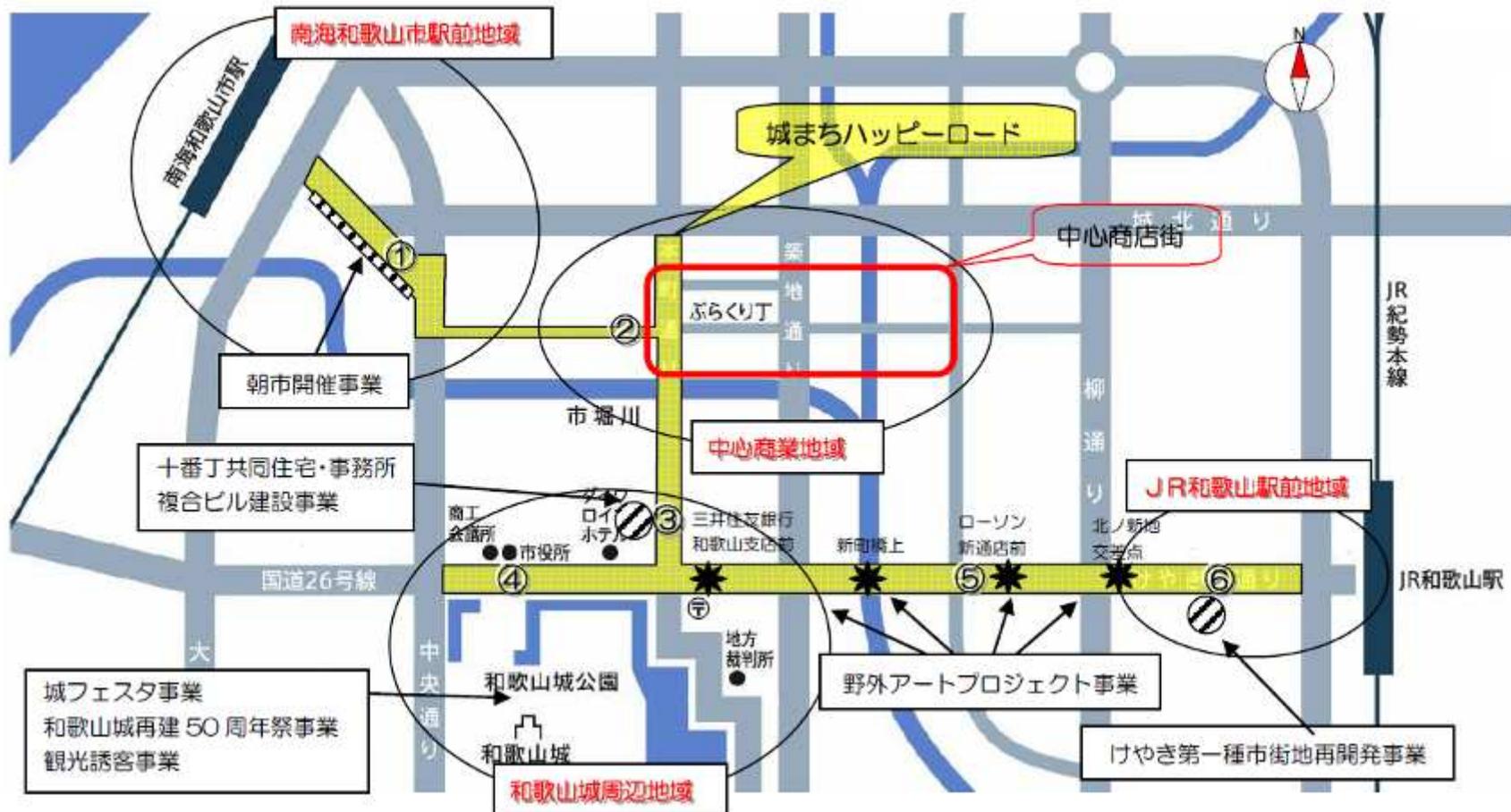
人口（人）	10,432
世帯数（世帯）	4,557
面積（ha）	186
未利用地（%）	3.2
商店数（店舗）	1,189
従業者数（人）	5,252
販売額（百万円）	73,454

（人口、世帯数はH17、その他はH16）

和歌山市中心市街地活性化基本計画②

■歩いて楽しく過ごせるまち

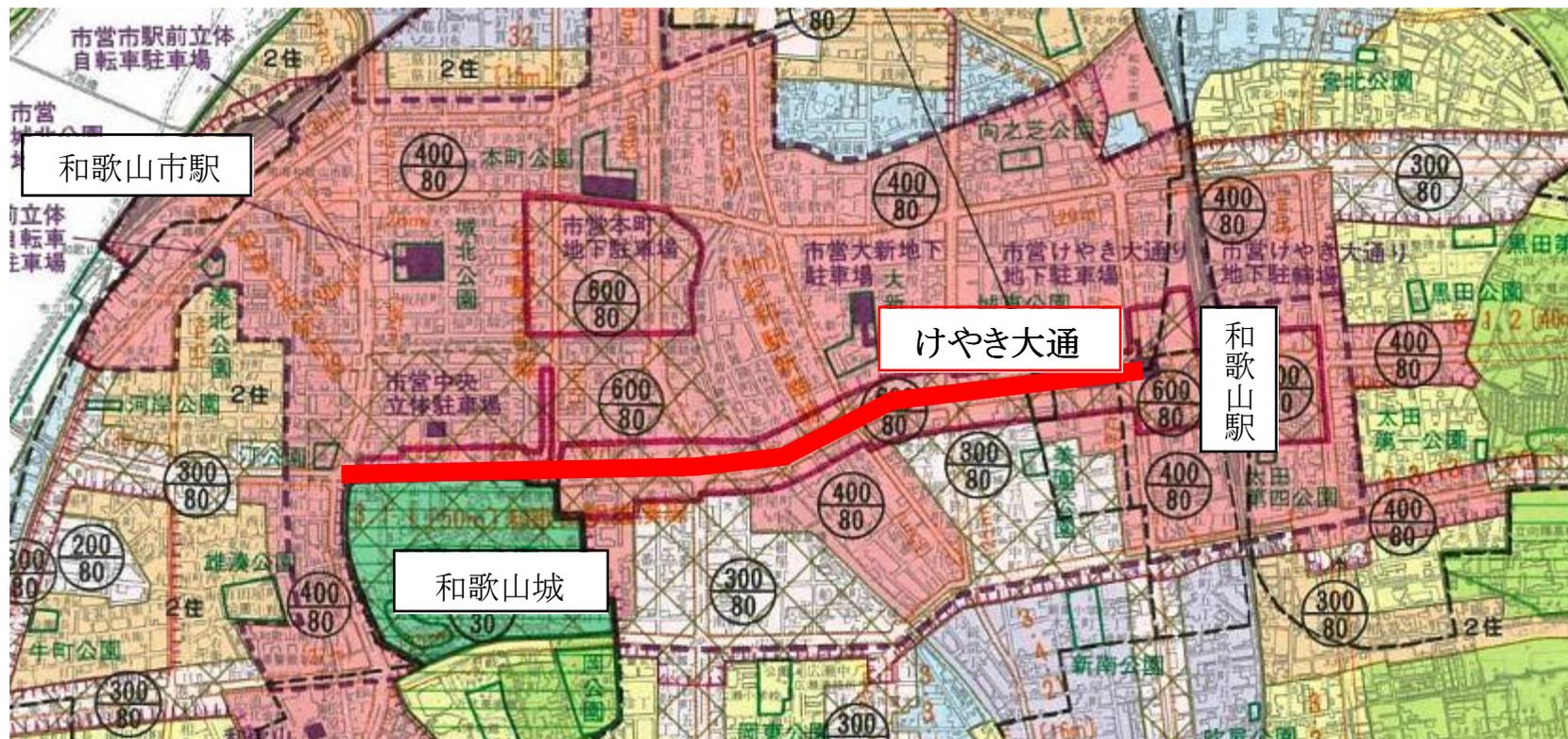
- ・ JR和歌山駅～ぶらくり丁周辺～南海和歌山市駅をつなぐ一連の道路を「城まちハッピーロード」として関連事業を実施



和歌山市都市計画①

■用途地域

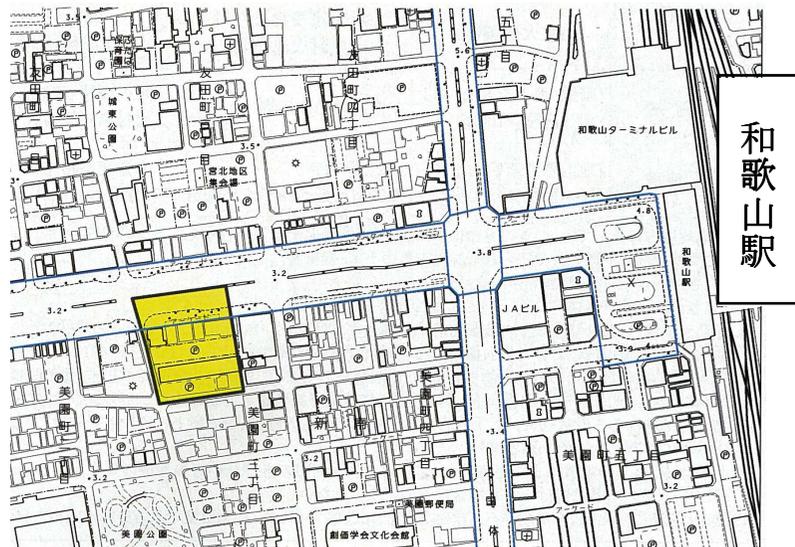
- ・ けやき大通り周辺は商業地域(容積率600%,建蔽率80%)
- ・ けやき大通り南部には近隣商業地域(容積率300%)が決定されている



和歌山市都市計画②

■高度利用地区（再開発事業）

- ・平成19年に都市計画決定
- ・けやき大通り第一種市街地再開発事業として高層集合住宅、ホテル及び商業・業務施設が事業中



完成イメージ

◎今後の予定

- 平成22年 3月 除却、整地完了
- 平成22年 4月 商業棟・住宅棟本体工事着手(4/12杭打ち)
- 平成22年11月 商業棟竣工予定
- 平成23年 7月 住宅棟竣工予定
- 平成23年10月 事業完了予定

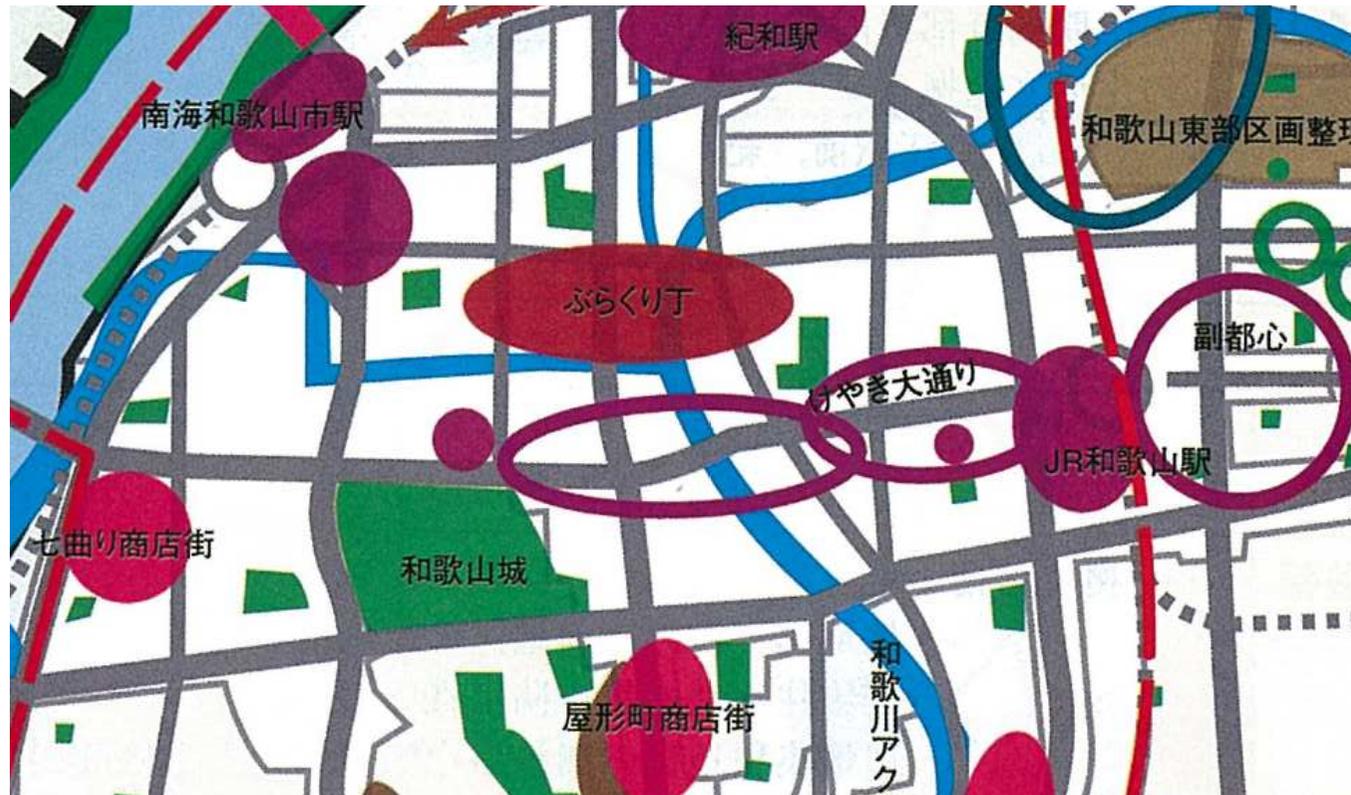
種類	面積	容積率の最高限度	容積率の最低限度	建ぺい率の最高限度	建築面積の最低限度	壁面の位置の制限	備考
高度利用地区	約0.6ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	200㎡以上	歩道がない道路に面した官民境界より1.0m以上	

和歌山市都市計画マスタープラン

■整備目標（豊かで魅力ある都市環境と活力のある産業を有する中核都市の形成）

- ・ 中心市街地の再生（駅前や商業地の再開発）
- ・ 和歌山市のシンボルとなる景観形成（けやき大通り沿道、和歌山城周辺等）

※けやき大通り周辺に関する部分を抜粋



中心部市街地整備方針(けやき大通り周辺)

(和歌山市都市計画マスタープランより抜粋)

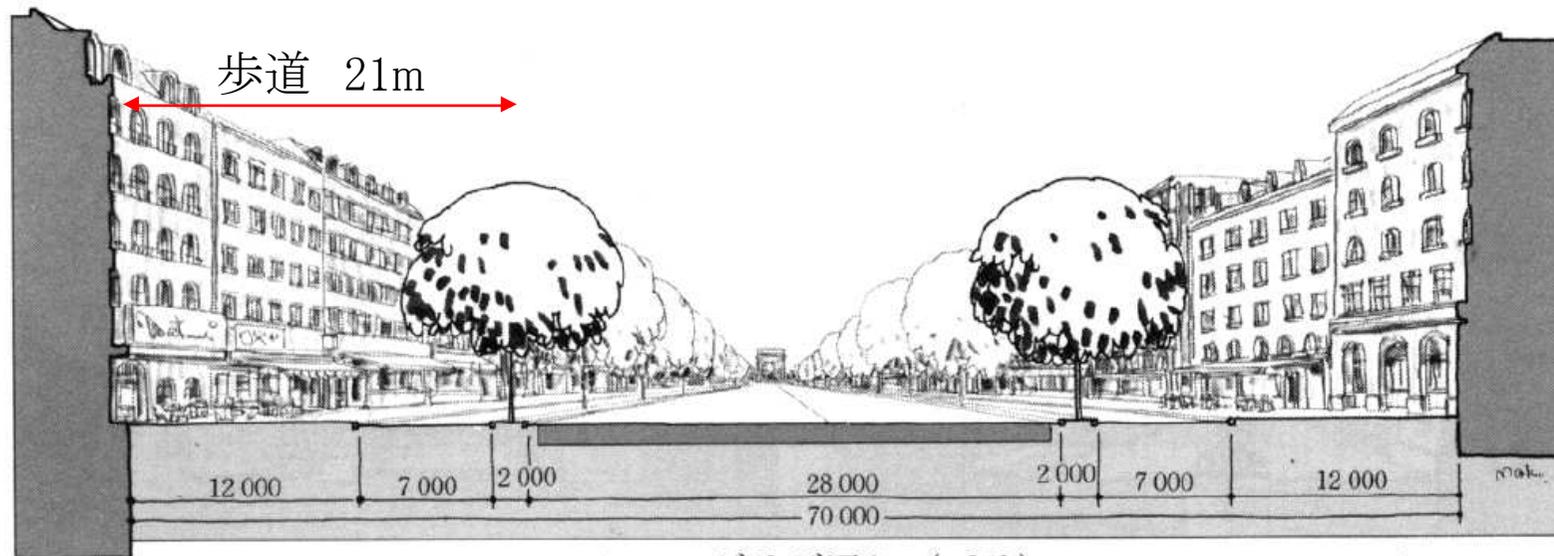
道路空間の再配分の事例

- ① シャンゼリゼ(パリ)
- ② 日本大通り(横浜市)
- ③ 青葉通り(仙台市)
- ④ 大手前通り(姫路市)

道路空間を再配分した事例①

■ シャンゼリゼ通りの事例

- ・ 1990年代に歩道の拡幅工事 (12m→21m)
- ・ ストリート・ファニーチャも大通りのオリジナルのものを作成・配置
- ・ 路側駐車帯を廃止し地下駐車場を建設
- ・ 市内の公共交通網を整備



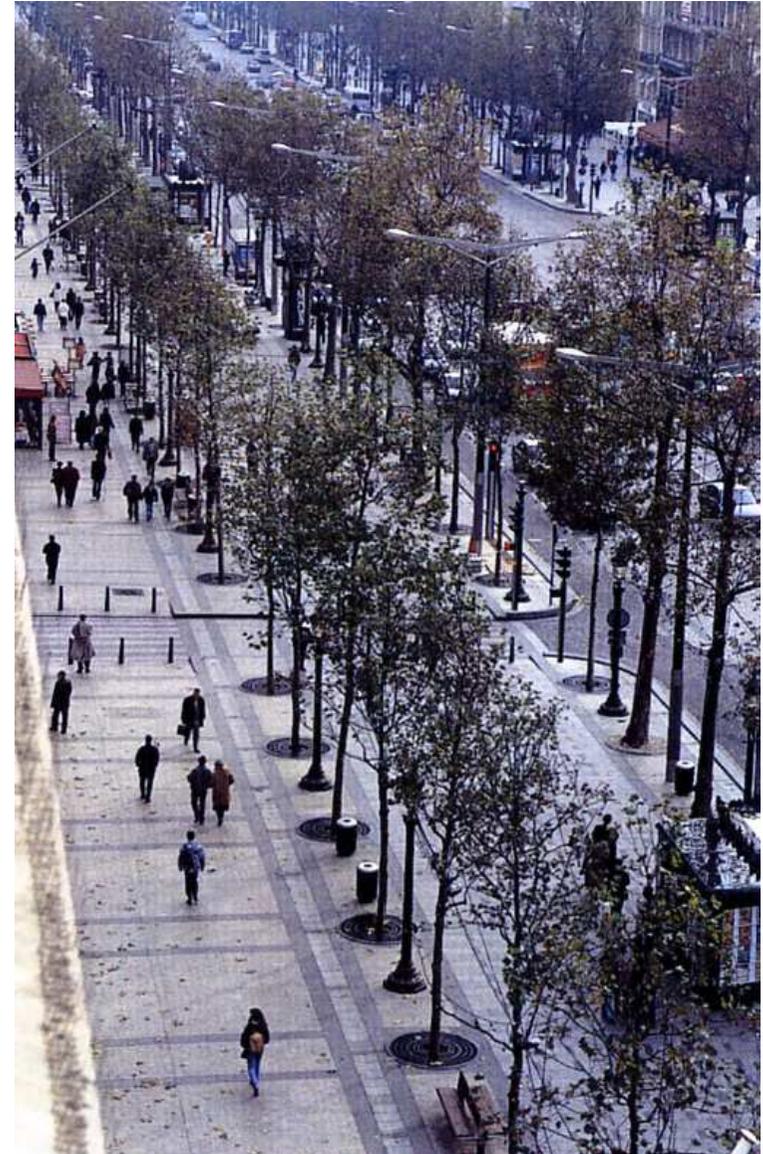
シャンゼリゼ通り (パリ) L=1100m, D=70m, D/H=2.5~3

道路空間を再配分した事例①

■ シャンゼリゼ通りの事例



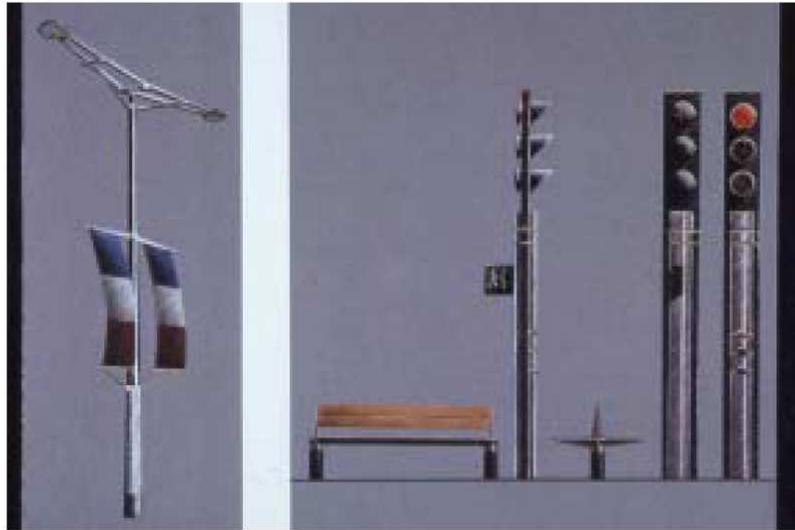
1980年代のシャンゼリゼ通り
(整備前)



整備後のシャンゼリゼ通り

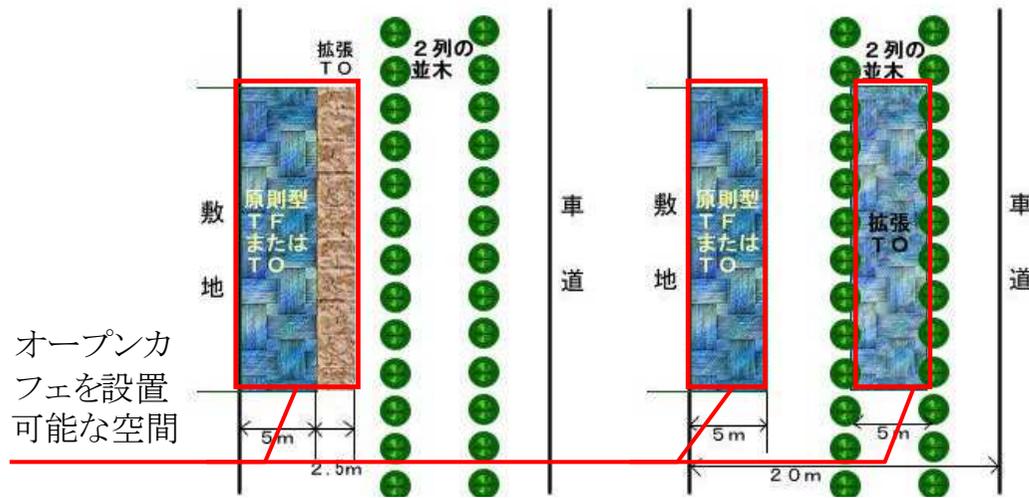
道路空間を再配分した事例①

■ シャンゼリゼ通りの事例



パリの広告塔(左)

シャンゼリゼ通りの
ストリート・ファーニチャ(右)

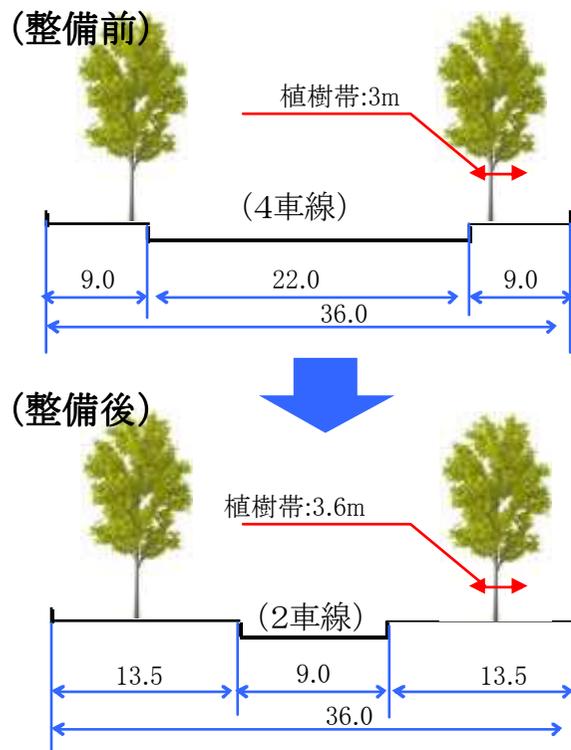


シャンゼリゼ通りのオープンカフェ

道路空間を再配分した事例②

■横浜市（日本大通り）の事例

- ・日本で初めての西洋式街路(R.H.ブラントン)
- ・平成11年～平成14年に歩道の拡幅工事(7m→13.5m)
- ・平成17年よりオープンカフェ等様々なイベントに利用



道路空間を再配分した事例②

■横浜市（日本大通り）の利用事例

(オープンカフェ)

占用：協定に基づいた管理を原則に実行委員会が一括占用

参加者：各店舗の出店場所は委員会が調整

出店料：2600円/m²・月



オープンカフェ



フラワーアートフェスティバル

(横浜市HPより)

道路空間を再配分した事例②

■国内におけるオープンカフェの事例

(名古屋・久屋大通)

占用：1ヶ月単位で道路占用許可を取得しながら継続

参加者：久屋大通に面し、地上階で営業しているもの
または建築物を有するもの

(御堂筋)

御堂筋を全面通行止めにして社会実験として実施

(御堂筋にぎわい空間づくり社会実験)



名古屋市・久屋大通



大阪・御堂筋



神戸市・三宮中央通り

道路空間を再配分した事例②（参考）

■海外における歩道空間の利用

	アメリカ (ワシントンD.C)	イギリス (ロンドン)	フランス (パリ)	ドイツ (レーゲンスブルク)	ドイツ (リュースブルク)
根拠法令	・コロンビア特別区法 (District of Columbia Municipal Regulations)の Title24, Chapter 3	・幹線道路法 (The Highway Act 1980)	・道路法典 ・ (CODE DE LA VOIRIE ROUTIERE) ・関連条例 (例：公道における 露店およびテラスの設置に関 する条例)	・連邦道路法 ・バイエルン州道路法 ・バイエルン州市町村法	・連邦道路法 ・ニーダサクセンシュウ道路法 ・ニーダサクセンシュウ市町村法
許可権者	道路管理者	道路管理者	道路管理者	自治体	自治体
占用許可 場所	歩道内の空間で樹木、街路灯 等の障害物が無く、歩行者の 交通のみに占められる部分	道路管理者は予め設置可 能な道路を指定	道路によって設置可能なテラス 種類は、予め道路管理者により 制限	自宅前面の公道の間口分のみ	許可証に記載
設置可能 物件	・テーブル、椅子、桶（手ず り）、プランター、天幕、傘、 装飾品など（移動可能なもの に限る）	—	・一般的には規定なし ・シャンゼリゼのオープンテラ スに関してはテーブル、椅子、 花かご、メニューボード、パ ラソルに限定。パラソル等の 色は赤・青・白に限定	・カーペット、屋根、植木鉢、 柵等の禁止 ・椅子、テーブルの材質・デ ザイン等に関する規定有り	・設置家具のデザインは落ち着いた 色で景観と調和したもの
設置後の 歩道幅員	・歩道幅員は約3m以上確保 ・交差点に設置する場合：角に 約3mの隅切を設置	・歩道幅員は2m以上 ・オープンカフェの幅員 は歩道の1/3以下。	・歩道幅員は1.6m以上残す ・オープンカフェの幅員は0.6m 以上。原則として歩道幅員の 1/3まで	・人が通行できる幅員を残す (必要に応じて市が決定す る)	・許可証に記載
許可基準	—	—	・レストラン、アイスクリーム 屋、喫茶店、居酒屋 ・営業店舗の前面にテーブルと 椅子を設置する者	・飲食店名以外は日傘などへ 宣伝禁止	・設置家具は夜間に片付ける必要 がある ・道路表面の破損禁止 ・日傘などへ宣伝禁止 ・用地の掃除義務
占用期間	1年以内 ※占用許可発行後90日以内に カフェの設置が開始される 必要	—	・1年毎に一時的かつ取り消し 得る ・商売の停止、活動の変更、店 舗の譲渡により無効	4月～9月	1年間

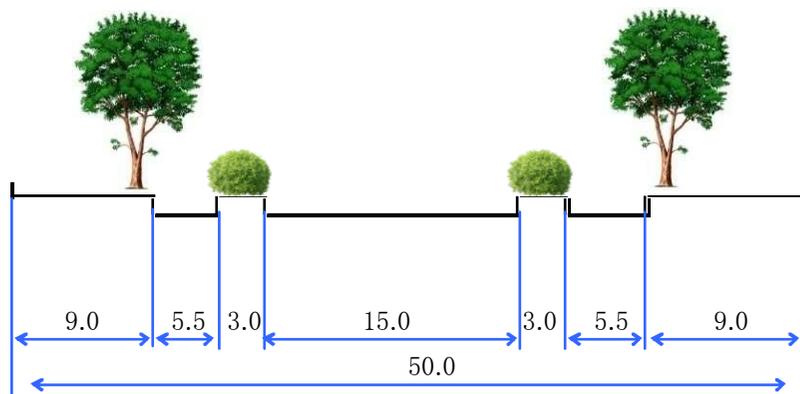
(出典：「道路ルネッサンス研究会」資料等より作成)

道路空間を再配分した事例③

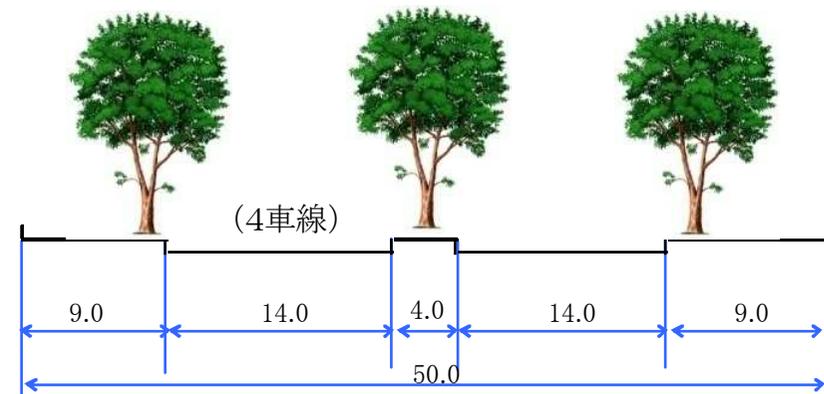
■ 仙台市（青葉通り）の事例

- ・ 昭和40年頃に、緩速車線を廃止し中央分離帯にけやきを植樹（歩道9m）

(整備前)



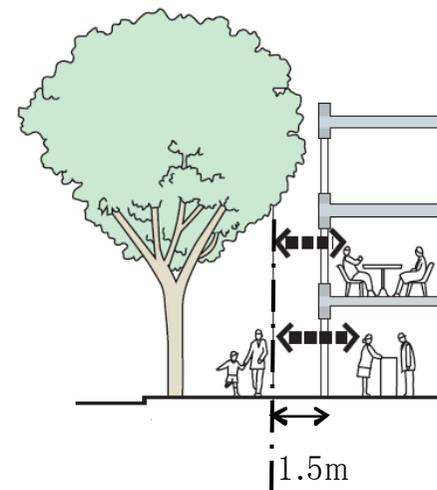
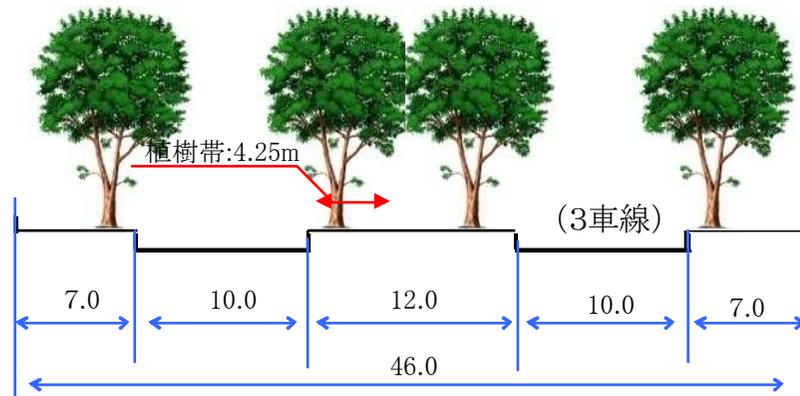
(整備後)



道路空間を再配分した事例③（参考）

■ 仙台市（定禅寺通り）の事例

- ・ 並木と調和する街並み形成に向けた「定禅寺通地区計画（壁面後退，形態・意匠）」を定め、街路空間と調和した沿道建築物の誘導



- ・ 壁面の後退(1.5m)
けやきの生育環境の確保
開放感のある街並みの形成
- ・ 広告物美観維持基準
意図・形態・色彩・総量の制限

道路空間を再配分した事例③（参考）

■街路樹(けやき)を利用したにぎわい創出の事例



SENDAI光のページェント

仙台市(青葉通り・常禅寺通り)

開催時期:12月12日～31日

観客数:約286万人(2008年)

概要:電球約60万球、けやき220本

NIIGATA光のページェント

新潟市(けやき通り)

開催時期:12月12日～1月12日

観客数:約55万人(目標値)

概要:電球約26万球、けやき210本



道路空間を再配分した事例④

■姫路市（大手前通り）の事例

- ・昭和59年～昭和63年に側道を廃止し歩道拡幅の整備
(7m→14.625m)

(整備前)



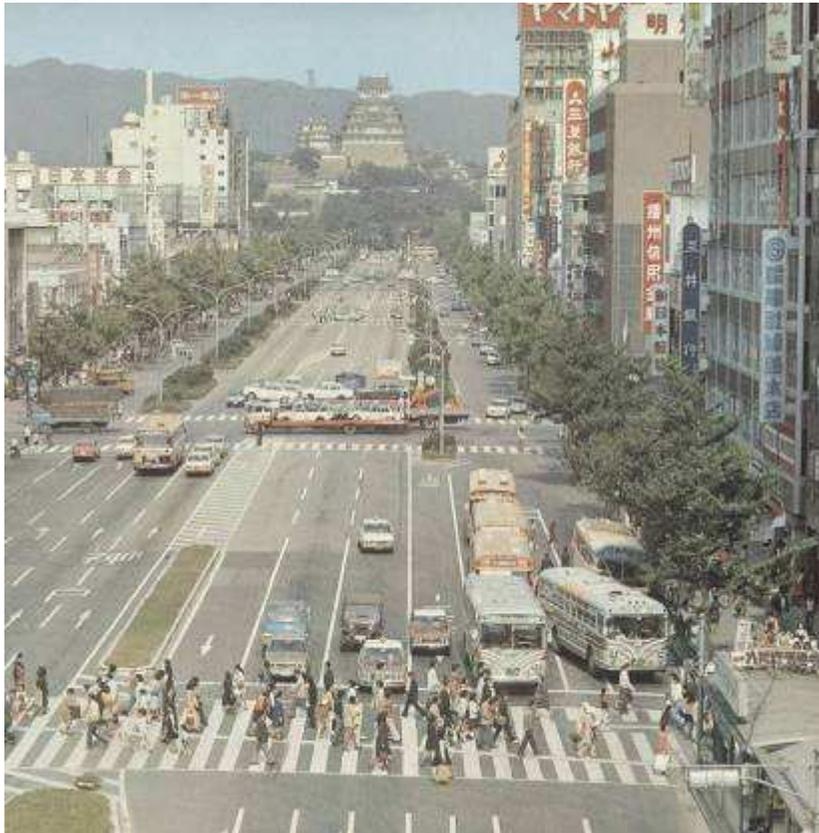
(整備後)



道路空間を再配分した事例④

■ 姫路市（大手前通り）の事例

(整備前)



(整備後)

